

誠文堂新光社 泊貴洋著

『映画監督への道』

40人が語る監督になるための発想と方法』

刊行記念

『アンを探して』監督 宮平貴子さんが語る「映画監督への道」

トークイベント決定

司会：シネマラボ突貫小僧代表 平良竜次

日時：2014年5月3日（土）15：00～

場所：ジュンク堂書店那覇店 地下一階イベント会場

●整理券はございません。参加無料です。

●席に限りがございます。満席の場合はお立ち見となります。



ここに注目！

人気映画雑誌「ピクトアップ」での人気コーナー“ニューカマーに学ぶ映画監督への道！”の単行本化。掲載される新人監督40人は、『南極料理人』の沖田修一監督や『おかんの嫁入り』呉美保監督など、今の日本映画界を担う人材が多数。沖縄からは、『アンを探して』でデビューした宮平貴子さんが取り上げられました！沖縄に生まれ育った宮平監督の幼少時代から、カナダで映画を撮り上げるまでをたっぷりお聞きします。聞き手は“沖縄を映画で元気にしたい！”をモットーに活動する「NPO法人シネマラボ突貫小僧」の代表・平良竜次さんです。



宮平貴子（みやひら・たかこ）

1979年沖縄県那覇生まれ。沖縄国際大学大学時に短編映画の製作・上映を精力的に行う。短編監督3作目になる『CALL』（20分）が山形国際ドキュメンタリー映画祭の特別企画に招待される。一部沖縄で撮影されたクロード・ガニオン監督の日加共同製作映画『リバイバル・ブルース』（2003）でカメラ助手を担当したことがきっかけで2003年より本格的に映画監督をめざしカナダに渡る。モントリオール世界映画祭で5冠を受賞した『KAMATAKI-窯焚-』（クロード・ガニオン監督）では第一助監督をつとめ、長編監督デビュー作『アンを探して』は、アジアン・フェスティバル・オブ・ファーストフィルム（シンガポール）で最優秀作品賞・及び最優秀監督賞を受賞した。2011年沖縄に戻り映画制作会社ククルビジョンを立ち上げ、沖縄オールロケの『カラカラ』（クロード・ガニオン監督作）では初めてのプロデュースに挑戦し、モントリオール世界映画祭で観客賞と世界に開ける視点賞をW受賞した。

近年の活動

2013年8月より 日本・スイス共同製作ドキュメンタリー『カタブイ』製作開始

2013年10月中国沖縄映画祭期間中の「観光と映画」シンポジウムパネリスト

2013年11月9日TED×Ryukyuのプレゼンターとして参加

2013年11月16日ドーリス・デリエin沖縄-他者へのまなざしにてデリエ監督と対談

2014年3月2日こどものための映画祭キンダー国際映画祭in沖縄<KIFFO>を立ち上げる

★当日は宮平関連書籍・DVDのサイン会も予定